

「令和 8 年熊本地震」に係る対応等について

令和 8 年 8 月 14 日

(点線部は更新箇所)

災害救護速報（長野県支部版）

－ 第 2 報 －

令和 8 年 7 月 28 日（火）16 時 27 分に熊本県熊本地方を震源として発生した地震災害に対し、日本赤十字社では発災直後から全国的な支援体制を立ち上げ、九州・沖縄各県支部から救護班等を順次派遣しております。長野県支部においても速やかに対応を開始しており、その状況は次のとおりです。

（主な活動状況）

■ 1. 救護班の活動（派遣予定含む）

主な活動は、「応急医療」「助産」「巡回診療」などがあります。被災地では、災害対策本部などと連携・調整し、情報収集をはじめ、けがをした人の治療、避難所を中心とした被災者の巡回診療などを行います。

活動期間	派遣元	派遣数	派遣先
8/6～8/9	長野赤十字病院	1 班	ウイングまつばせ 松橋西防災拠点センター
8/9～8/12	諏訪赤十字病院	1 班	ウイングまつばせ 松橋西防災拠点センター
8/21～8/24	飯山赤十字病院	1 班	宇城保健所
8/24～8/27	下伊那赤十字病院	1 班	宇城保健所
合 計		4 班	



（長野赤十字病院 出発式）



活動場所に向かう（宇城市）



避難者の診察を行う救護班（宇城市）

（長野赤十字病院救護班）



避難者に寄り添う看護師（宇城市）



活動開始前のチームミーティング（宇城市）

（諏訪赤十字病院救護班）

2. 日赤災害医療コーディネートチームの活動（派遣予定含む）

被災地の保健医療ニーズを把握し、都道府県保健医療福祉調整本部の災害医療コーディネーター等との協議・調整を行うと共に、救護班の活動に関して医療救護の専門的観点から活動調整等を行います。

活動期間	派遣元	派遣数	派遣先
8/18～8/23	安曇野赤十字病院	1チーム	八代保健所・八代市役所
合 計		1チーム	

（参考）日赤災害医療コーディネートチームとは…

医師、看護師、薬剤師、事務職員等の計3人を基本構成としています。日本赤十字社は、東日本大震災における救護活動の総括を踏まえ、平成25年度から同チームの設置に取り組み、研修を通じて養成しており、長野県支部では計12チームが登録されています。

